





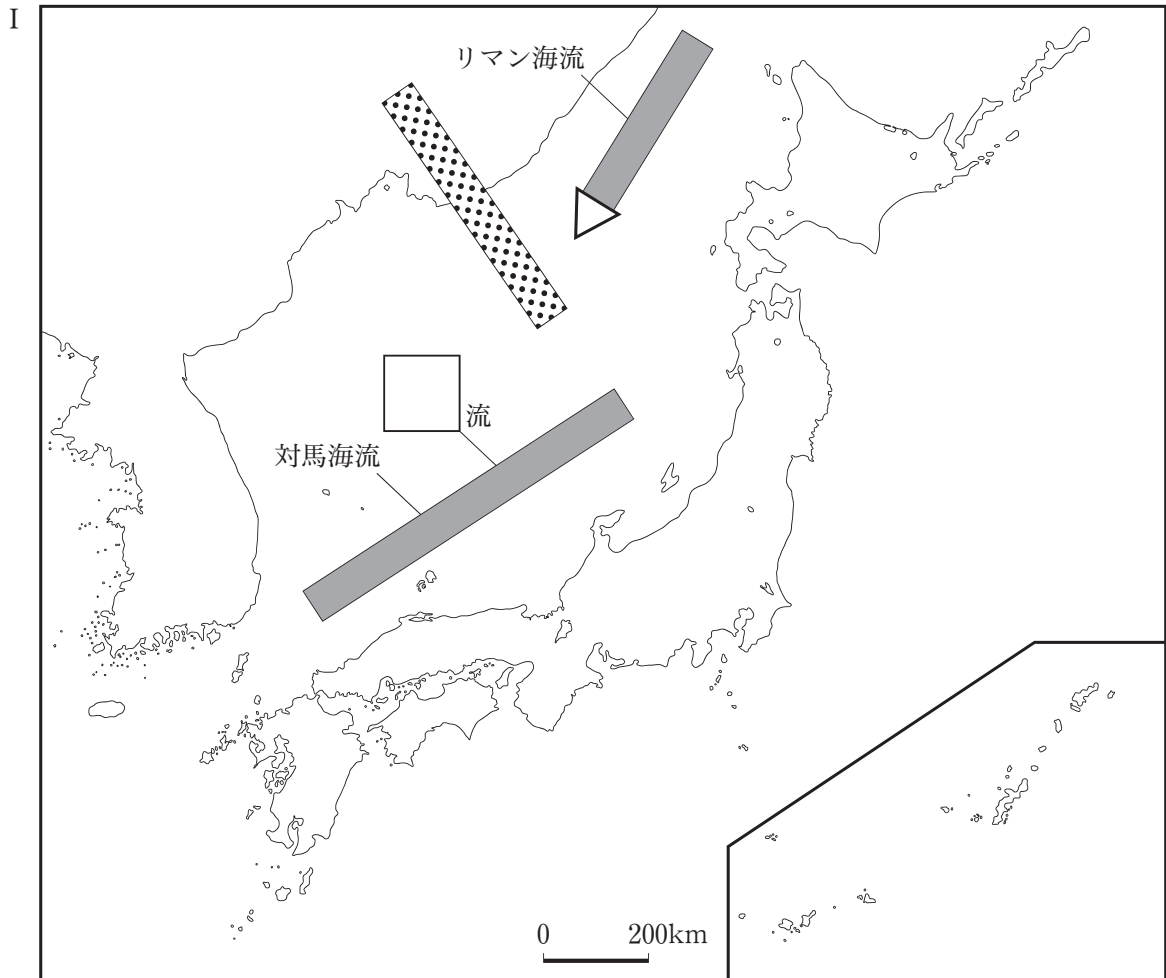
# 社 会

注 意

- 1 問題は **1** から **6** までで、12 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午後 2 時 00 分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 5 答えは**特別の指示**のあるもののほかは、各問の**ア・イ・ウ・エ**のうちから、最も適切なものをそれぞれ**一つずつ**選んで、その記号を書きなさい。
- 6 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 7 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

1 次の各問に答えよ。

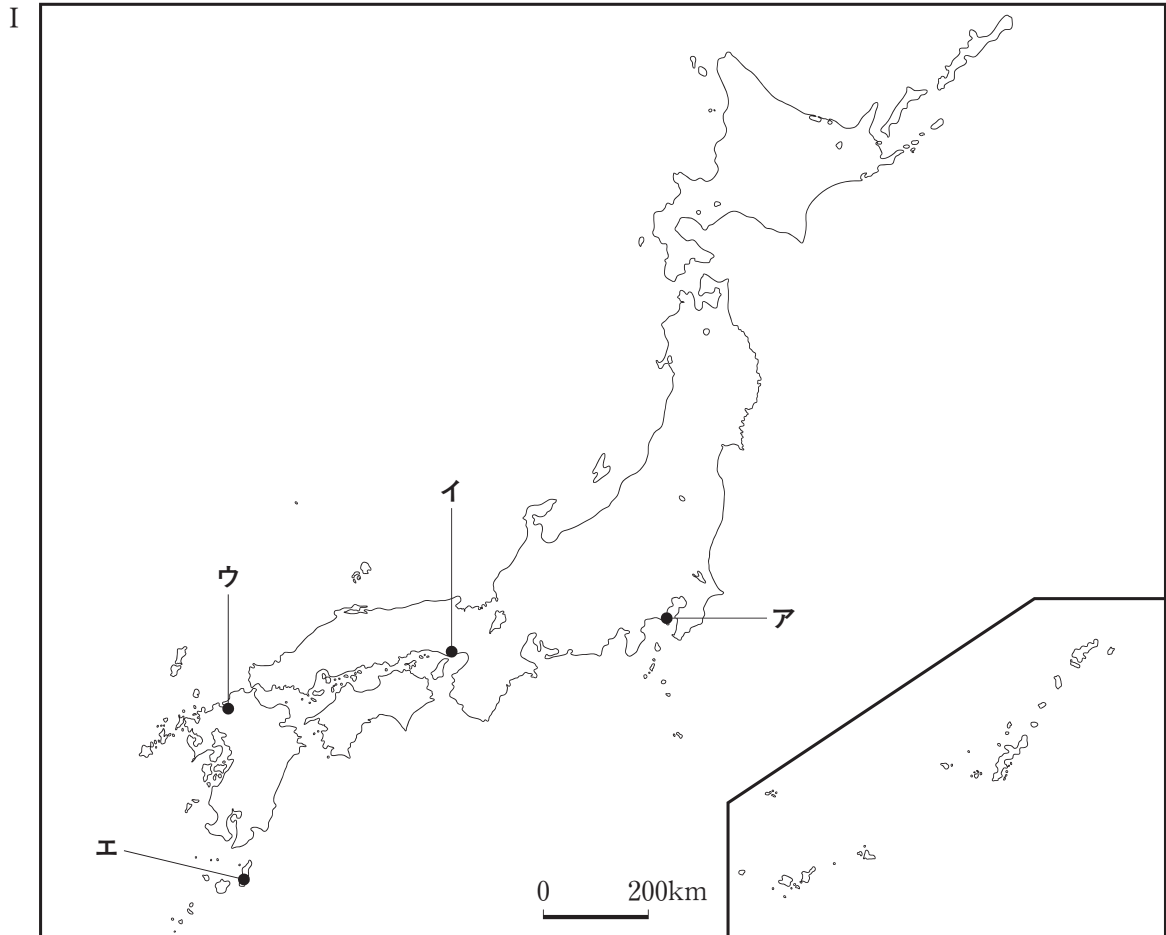
〔問1〕 次の I の略地図は、日本海を流れる二つの海流を  で、冬の季節風を  で模式的に示そうとしたものである。II の文章は、日本列島における日本海側の気候の様子について述べたものである。II の文章を読んで、解答欄に示した略地図中の  に、暖流又は寒流のいずれかの区別を漢字 1 字で記入するとともに、 を使い、対馬海流が流れる向きと、冬の季節風が吹く向きを示せ。



II

冬の乾いた季節風は、日本海を渡るとき、海から蒸発した水分を多く含む。この季節風が山地にぶつかり、日本海側に多くの雨や雪を降らせる。

〔問2〕 次のⅠの略地図中のア～エは、我が国の歴史の流れを変えた出来事があった位置を示したものである。Ⅱの文章で述べている出来事があった位置に当てはまるのは、略地図中のア～エのうちのどれか。



Ⅱ

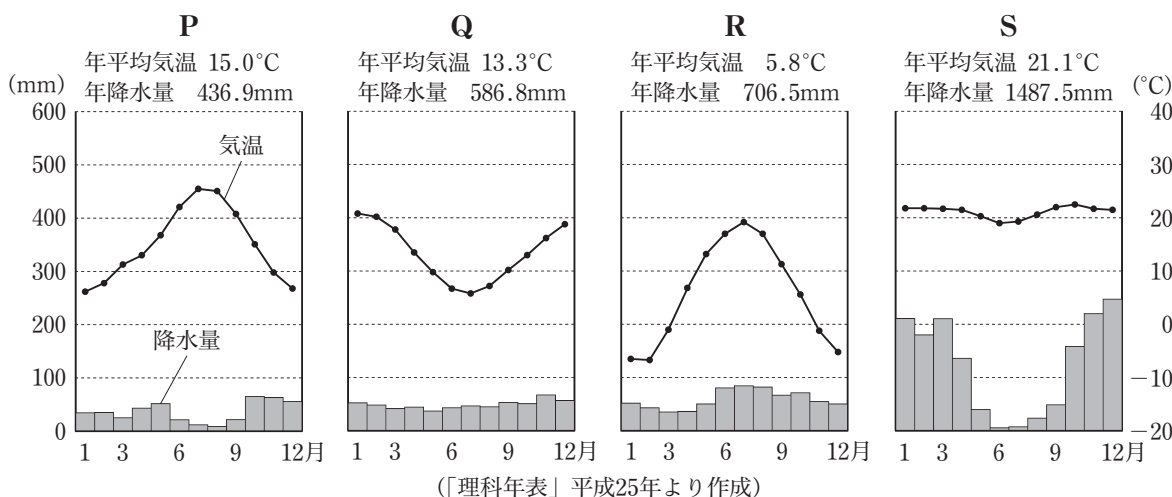
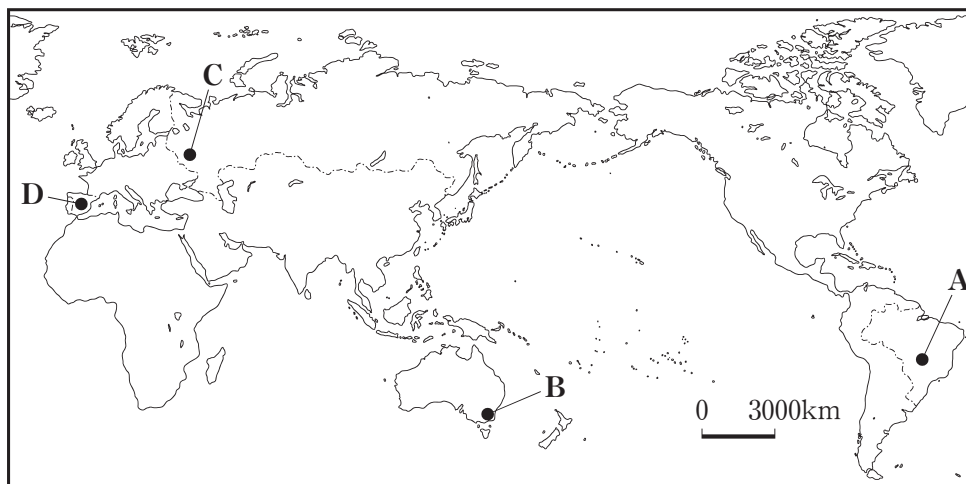
ポルトガル人を乗せた中国の船がこの地に漂着した。この地の領主はポルトガル人から鉄砲を買い求め、家臣にその使用法と製造法を学ばせた。その後、鉄砲は刀鍛冶かじの技術をもとに我が国でも生産されるようになった。

〔問3〕 次の文章で述べている制度を何というか、漢字で書け。

重大な犯罪に関する刑事裁判に一般の国民が参加し、裁判の内容や進め方などに国民の視点や感覚を反映させることを目的として、2009年から我が国で導入された。無作為に選ばれた6名の国民が、裁判官3名と共に同一の事件を担当し、法廷での審理や評議・評決を通じて、第一審における被告人の有罪・無罪や、刑の内容を決定し、裁判長が判決を宣告する。

2 次の各問に答えよ。

〔問1〕 次の略地図中のA～Dは、2010年における砂糖，羊毛，木材，オレンジの輸出量が世界第1位の国の首都である，ブラジリア，キャンベラ，モスクワ，マドリードの位置をそれぞれ示したものである。下のP～Sのグラフは，A～Dのいずれかの都市の年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。下のP～Sのグラフが示す都市は，それぞれ略地図中のA～Dのうちのどれか。



〔問2〕 次のIの表のA～Eは、2010年における海外に進出している日本企業数上位10か国のうち、アメリカ合衆国，イギリス，中華人民共和国，大韓民国のいずれかの国の，2010年における進出している日本企業数，輸出額，輸入額，一人当たりの国内総生産を示したものである。IIの文章で述べている国に当てはまるのは，Iの表のA～Eのうちのどれか。

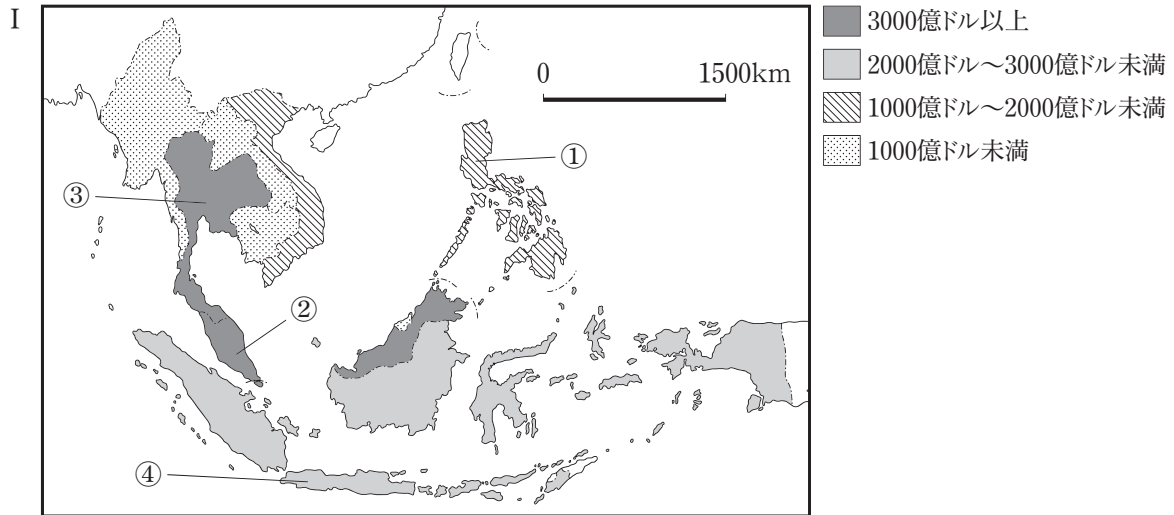
	進出している 日本企業数	輸出額 (億ドル)	輸入額 (億ドル)	一人当たりの 国内総生産 (ドル)
A	781	4102	5615	36327
I	3283	12776	19688	46546
ウ	5345	15783	13962	4354
E	728	4664	4252	21052

II  
 繊維業により発展した工業国で，現在は同じ経済地域内で航空機を共同で生産するなど，高度先端技術産業が発展している。近年，貿易赤字が続いているが，この国の首都は世界的な金融都市として重要な役割を担っている。

(注) 国内総生産とは，一つの国において新たに生み出された価値の総額を示した数値のこと。

(「世界国勢図会」2012/13年版などより作成)

〔問3〕 Iの略地図は、東南アジアの国々の2010年における貿易総額を示したものである。IIの表は、Iの略地図中に①～④で示した**いずれか**の国の、1990年と2010年における輸出額、**いずれか**の国からの日本の輸入額、日本の輸入額の上位3位の品目と割合を示したものである。IIIの文章で述べている国に当てはまるのは、Iの略地図中の①～④のうちのどれか。また、IIの表中の**ア～エ**のうちのどれか。



(「世界国勢図会」2012/13年版より作成)

II

		輸出額 (億ドル)	日本の 輸入額 (百億円)	日本の輸入額の上位3位の品目と割合 (%)			
				1位	2位	3位	
ア	1990年	257	182	原油 31.4	液化天然ガス 28.6	石油製品 8.1	
	2010年	1581	248	液化天然ガス 22.0	石炭 11.9	銅鉱 10.4	
イ	1990年	295	78	木材 33.4	液化天然ガス 20.0	原油 13.9	
	2010年	1988	199	液化天然ガス 37.7	機械類 28.0	石油製品 3.6	
ウ	1990年	82	31	果実 18.4	銅鉱 12.8	機械類 11.6	
	2010年	514	69	機械類 42.0	果実 11.9	銅鉱 3.4	
エ	1990年	231	60	魚介類 19.2	機械類 15.7	天然ゴム 9.1	
	2010年	1954	184	機械類 34.6	魚介類 6.0	天然ゴム 5.1	

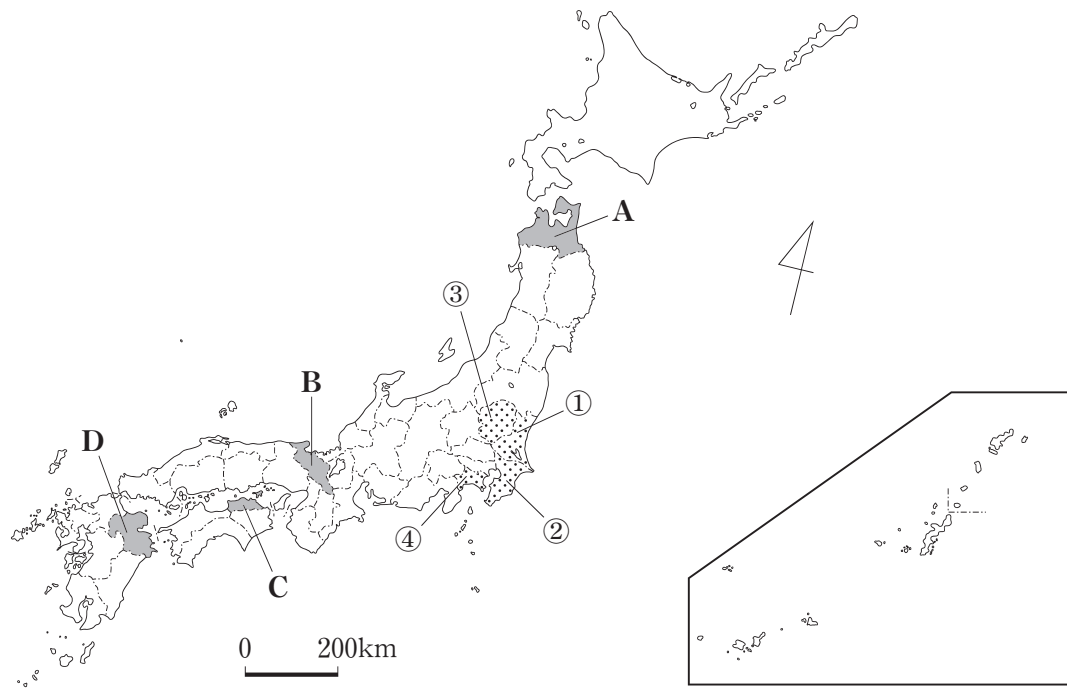
(「日本国勢図会」2011/12年版などより作成)


III

この国は多民族国家で、さまざまな宗教が信仰されており、その中でもイスラム教を信仰している人々の割合が多い。気候は熱帯雨林気候に属し、国土の約70%が熱帯林で覆われている。日本とは、江戸時代初期、朱印船貿易を通じてマラッカを中心に交流を深めた。


2010年における貿易総額は約3600億ドルで、そのうち輸出額は5割を超えている。1990年と2010年を比べると、この国からの日本の輸入額は約2.5倍に増えており、現在は液化天然ガスの占める割合が高い。また、日本の主要輸入品目では、機械類の伸びも特色となっている。

3 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



〔問1〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は、略地図中に  で示した、**A**～**D**のいずれかの府県の自然環境と特産物についてまとめたものである。**A**～**D**の府県のそれぞれに当てはまるのは、次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	自然環境と特産物
<b>ア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北西部には山地が、中央部には高地があり、盆地が複数点在している。北西部には半島があり、その南東側には、特徴的な海岸地形が見られる。</li> <li>○盆地の特徴である昼夜の寒暖の差が大きい気候の下で栽培され、精進料理の食材としても利用されるこの野菜は、甘みが強く、加工品として土産物にもなっている。</li> </ul>
<b>イ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央部付近には、北東から南西に複数の火山が連なっている。南東部には、複雑な入り江の海岸線が続き、国立公園となっている。</li> <li>○沖合いの潮の流れが速い海域に生息するこの魚は、一本釣り漁によって捕獲され、水揚げされた漁港にちなんだ名が付された高級魚として知られている。</li> </ul>
<b>ウ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○南部には東西に延びる山脈があり、流量が少なく短い河川の下流域には、平野が形成されている。</li> <li>○地中海地方で多く栽培されるこの果実は、温暖で雨の少ない気候が栽培に適しているため、試験栽培に成功した後、広く栽培されるようになり、食用油などに加工されている。</li> </ul>
<b>エ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央部には南北に延びる山脈があり、南西部の山地には世界最大級のブナの天然林が存在している。北部には二つの半島があり、湾が形成されている。</li> <li>○秋に植え付けられるこの野菜は、雪の下の土壤に埋め置くことで、養分を蓄えて糖度が増し、食材や健康食品の原料に用いられている。</li> </ul>

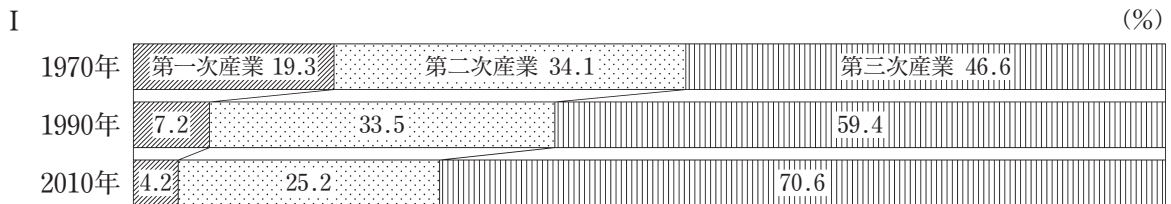
〔問2〕 次のページのIの表の①～④は、略地図中に  で示した、①～④のそれぞれの県について、1960年、1985年、2010年における関東地方の製造品出荷額に占める割合、2010年における製造品出荷額の上位3位の品目と割合を示したものである。IIの文章は、①～④のいずれかの県の製造業の様子についてまとめたものである。IIの文章で述べている県に当てはまるのは、略地図中の①～④のうちのどれか。

I	関東地方の製造品出荷額に占める割合 (%)			2010年における製造品出荷額の上位3位の品目と割合 (%) (左から1位, 2位, 3位)
	1960年	1985年	2010年	
①	3.9	9.5	14.0	化学 (12.9), 食料品 (10.6), 生産用機械 (9.6)
②	4.4	12.6	16.1	石油製品 (22.7), 化学 (22.6), 鉄鋼 (13.5)
③	3.3	7.0	11.1	輸送用機械 (19.1), 情報通信機械 (10.5), 電気機械 (8.8)
④	29.5	28.8	22.6	輸送用機械 (21.8), 石油製品 (14.0), 化学 (12.0)

(2010年工業統計表などより作成)

- II
- この県は、1970年代以降、高速道路の整備に伴い、インターチェンジ付近や国道など、輸送に便利な主要道路沿いに工業団地がつくられ、関東地方の製造品出荷額に占める割合を高め、県庁所在地が県内最大の工業都市となっている。
  - この県は、もともと繊維産業が盛んな地域であったが、首都圏と比較して地価が安く、労働力も確保しやすかったことから企業が進出し、大手自動車会社の組み立て工場や、先端技術を用いた工業製品の製造工場が立地している。

〔問3〕 次のIのグラフは、1970年、1990年、2010年の我が国の産業別就業人口の割合を示したものである。IIの表は、近年の社会情勢の変化に伴い、2002年3月に改訂された日本標準産業分類の改訂前と改訂後の分類を示したものである。IとIIの資料から読み取れる、我が国の産業構造の変化について、第三次産業に着目して、簡単に述べよ。



(注) 四捨五入の処理のため、産業別就業人口を合計したものは、100%にならない場合がある。  
(2010年国勢調査などより作成)

改訂前の日本標準産業分類	改訂後の日本標準産業分類
A 農業	A 農業
B 林業	B 林業
C 漁業	C 漁業
D 鉱業	D 鉱業
E 建設業	E 建設業
F 製造業	F 製造業
G 電気・ガス・熱供給・水道業	G 電気・ガス・熱供給・水道業
H 運輸・通信業	H 情報通信業
I 卸売・小売業, 飲食店	I 運輸業
J 金融・保険業	J 卸売・小売業
K 不動産業	K 金融・保険業
L サービス業	L 不動産業
M 公務 (他に分類されないもの)	M 飲食店, 宿泊業
N 分類不能の産業	N 医療, 福祉
	O 教育, 学習支援業
	P 複合サービス事業 (他に分類されないもの)
	Q サービス業
	R 公務 (他に分類されないもの)
	S 分類不能の産業

(注) 日本標準産業分類とは、国勢調査などの統計調査の結果を産業別に表示する場合の統計基準である。  
(総務省の資料より作成)



4 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

水は、私たちの国土を緑豊かにし、産業の発展の基盤となり、人々の生活を支えてきた。  
 我が国では古くから、治水や利水などの工夫により、農業生産を向上させる取り組みが続けられてきた。<sup>(1)</sup>それに伴い、手工業の原料となる作物の栽培が進み、各地では特産品がつくられるようになり、商業も活発になっていった。そして、商品の流通量が増えていくとともに、交通の要衝となる地を中心として、海や河川における水運の整備が進められていった。<sup>(2)</sup>  
 また、政治の中心地としての城下町がつくられ、拡大していくとともに、城下町とその周辺では、社会の変化に対応し、用途に応じて水を利用するようになった。<sup>(3)</sup>  
 さらに、明治時代以降になると、欧米の知識や技術が広く活用されるようになり、人々の生活が変化していく中で、水に関連した技術が社会の発展に生かされていった。<sup>(4)</sup>

〔問1〕 治水や利水などの工夫により、農業生産を向上させる取り組みが続けられてきた。とあるが、<sup>(1)</sup>次のア～エは、古墳時代から室町時代にかけての、農業生産を向上させる取り組みについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

- ア 幕府の権威に頼ることなく、<sup>じぎわらい</sup>地侍や農民を直接支配し実力で領国を治めた武士によって、大規模な治水工事が行われ、河川の堤防が建設された。
- イ 牛馬や鉄製農具の利用が進むとともに、肥料に草や木の灰などが使われるようになり、麦を裏作とする二毛作が普及する中で、川の流れを利用した水車が使用された。
- ウ 富と権力をもった支配者によって、硬い質の土器の製造や金属の加工技術とともに渡来人もたらした土木技術を活用した、かんがい施設が整備された。
- エ 人口の増加により口分田が不足し、新たに開墾した土地を永久に私有地とすることが認められ、開墾のための用水を確保する、ため池が築造された。

〔問2〕 交通の要衝となる地を中心として、海や河川における水運の整備が進められていった。<sup>(2)</sup>とあるが、次のⅠの略年表は、室町時代から明治時代にかけての、我が国の水運の整備に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は、大阪における商業活動と文学作品について述べたものである。Ⅱの文章で述べている商業活動が行われ、文学作品がつくられた時期に当てはまるのは、略年表中のア～エの時期のうちではどれか。

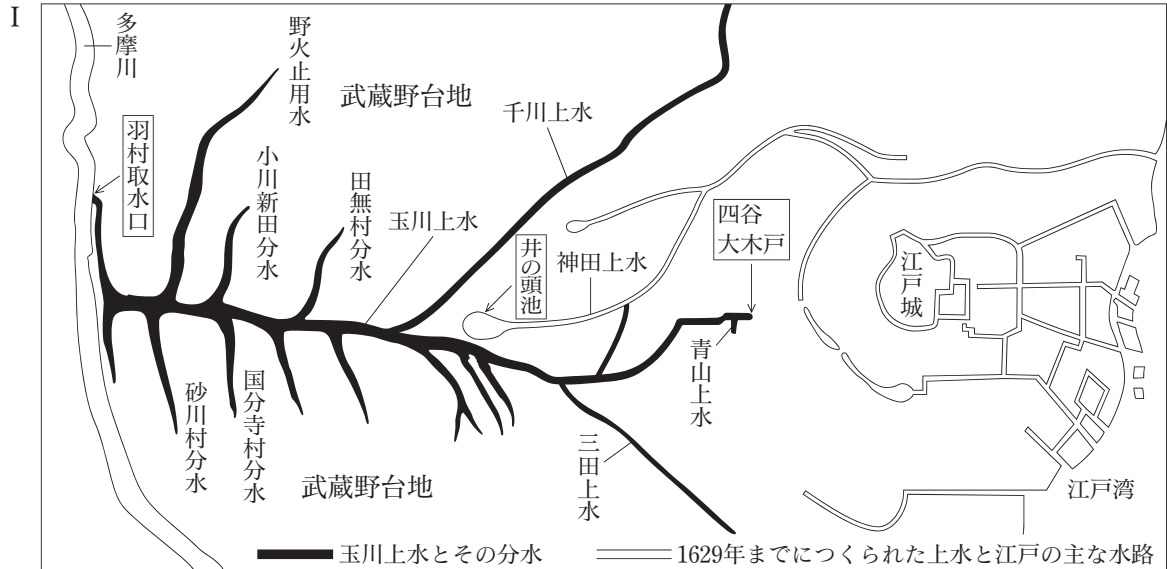
Ⅰ	西暦	水運の整備に関する主な出来事
	1469	●運河による水運が整備された <u>堺</u> に、明からの貿易船が初めて入港した。
	1607	●富士川の流路が改良され、 <u>甲府盆地</u> と <u>駿河湾</u> との間で水運を利用した輸送路が開かれた。
	1654	●利根川の付け替え工事が完成し、 <u>江戸</u> と <u>銚子</u> との間が河川による水運で結ばれた。
	1729	● <u>中川</u> の開削工事が完成し、 <u>関東平野</u> の <u>古利根川</u> 沿岸と <u>江戸</u> との間に新たな水運が開かれた。
	1890	● <u>琵琶湖</u> 疏水の開削工事が完成し、 <u>大津</u> から <u>京都</u> 都市内への通船が始まった。

Ⅱ

- 西廻り航路が新たに開かれたことにより、全国各地の米などの産物が運び込まれ、各地へ輸送される物資の集散地となった。
- 井原西鶴によって著された浮世草子と呼ばれる小説「日本永代蔵」に、河川沿いに発達した市場で、米の取り引きを担った町人たちの様子が描かれた。



〔問3〕 社会の変化に対応し、用途に応じて水を利用するようになった。とあるが、次のIの略地図は、18世紀はじめにおける江戸とその周辺の主な上水や用水、分水を示したものである。IIの文章は、江戸幕府の政策とIの略地図に示した上水や用水、分水についてまとめたものである。IIIの略年表は、上水や用水、分水に関する主な出来事についてまとめたものである。玉川上水とその分水がつくられた理由を、I～IIIの資料を活用し、政策に着目して、簡単に述べよ。



(「東京市史稿 上水篇 第一」より作成)

- II
- 参勤交代の制度が定められ、大名やその家臣、家臣が江戸に住むようになった。
  - 市街地の拡大とともに、増加する人口に対応するため、飲料水の確保が課題となった。
  - 羽村で多摩川から取水された玉川上水の水は四谷大木戸から江戸の町に入ると、網の目のようにはりめぐらされた地下の水道管(石樋・木樋など)によって給水された。
  - 享保の改革において新田開発が奨励され、武蔵野台地に玉川上水からの分水が多く開かれた。

III

西暦	上水や用水、分水に関する主な出来事
1629	●井の頭池などを水源とする神田上水が完成した。
1654	●多摩川から水を引く玉川上水が完成し、江戸への給水が開始された。
1655	●野火止用水が開かれた。
1657	●砂川村分水、小川新田分水、国分寺村分水が開かれた。
1660	●青山上水が開かれた。
1664	●三田上水が開かれた。
1696	●千川上水、田無村分水が開かれた。
1729	●武蔵野台地の新田への新たな分水が許可された。

(東京都水道歴史館の資料などより作成)

〔問4〕 人々の生活が変化していく中で、水に関連した技術が社会の発展に生かされていった。とあるが、次のア～エは、明治時代から現代にかけての、水に関連した技術について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

- (4)
- ア 技術革新が進み工業製品の海外輸出が拡大し、高度経済成長を遂げる中で、家庭電化製品が急速に普及し、電力需要の増加に対応して建設が進められた黒部ダムが完成した。
  - イ ガスや水道が普及し、住宅地が郊外に広がり都市の人口が急速に増加する中で、公衆衛生の向上が求められ、我が国で初めての近代的な下水処理施設が運転を開始した。
  - ウ 地球温暖化対策などの自然環境に関する世界規模での取り組みが求められる中で、環境技術の開発が進められ、オゾンと生物活性炭を使った高度浄水処理が導入された。
  - エ 西洋の風俗や習慣を積極的に取り入れようとする中で、殖産興業政策が進められ、水力を動力源とするイギリス製の機械を導入した官営の綿糸紡績工場が操業を開始した。

5 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

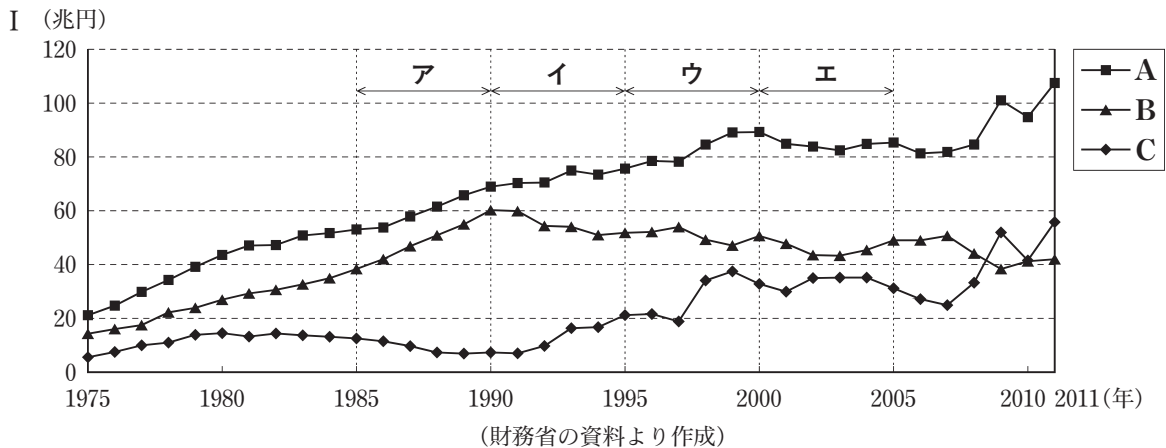
政府は、私たちが納める税金等を財源に、人々の生活を支える公的な財やサービスの提供などの経済活動を行っている。これらの根拠となるのは法令である。例えば、福祉サービスの提供等の経済活動は、国民の権利と国の責務を明示した、日本国憲法の規定に基づいて行われている。<sup>(1)</sup>日本国憲法では、国会を国権の最高機関と位置付けており、国会で議決された、歳入・歳出にかかわる予算に基づいて財政が運営される。<sup>(2)</sup>この予算の原案を作成するのは内閣である。内閣で閣議決定された予算案は国会に提出されると、衆議院、参議院の順に審議が行われ、予算が成立する。<sup>(3)</sup>近年、我が国では社会保障関連の予算額が増加しており、予算案の審議等においても、社会保障制度のあり方についての議論が進められている。<sup>(4)</sup>

〔問1〕 例えば、福祉サービスの提供等の経済活動は、国民の権利と国の責務を明示した、日本国憲法の規定に基づいて行われている。<sup>(1)</sup>とあるが、社会権のうち、次の条文で規定されている権利を何というか、漢字3字で書け。

第25条

- ①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- ②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

〔問2〕 国会で議決された、歳入・歳出にかかわる予算に基づいて財政が運営される。<sup>(2)</sup>とあるが、次のIのグラフは、1975年から2011年までの我が国における歳入・歳出に関する金額の推移を示したものである。IのグラフのA、B、Cは、租税収入、公債発行額、歳出総額のいずれかに当てはまる。IIの文章は、ある時期の我が国の経済状況についてまとめたものである。IIの文章で述べている時期に当てはまるのは、Iのグラフ中のア～エのうちではどれか。



- II
- この5年間で、歳出総額が約10兆円以上拡大した。
  - 好景気を背景に、租税収入が増加したため、財政収支が改善した。

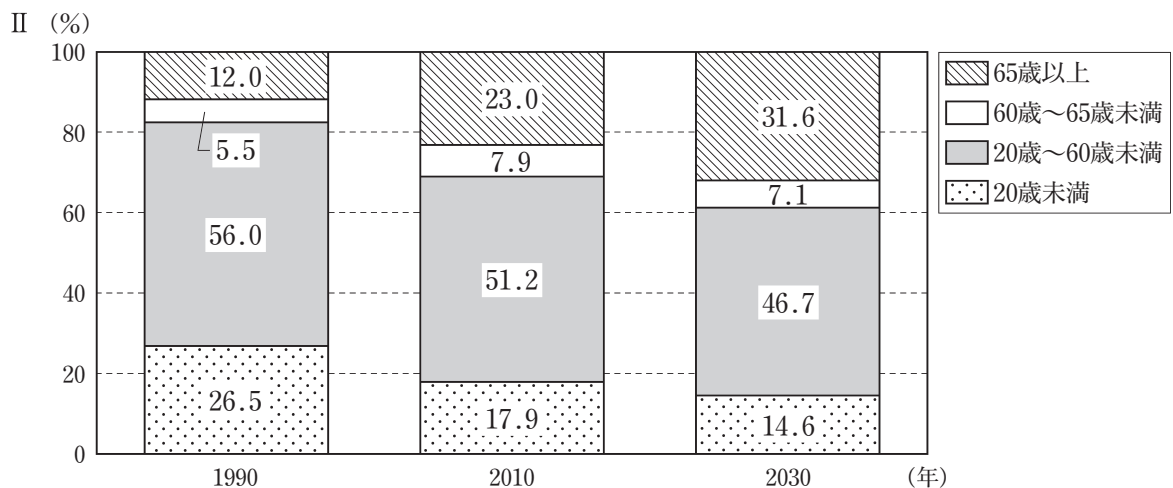
〔問3〕 内閣で閣議決定された予算案は国会に提出されると、衆議院、参議院の順に審議が行われ、<sup>(3)</sup> 予算が成立する。とあるが、日本国憲法における衆議院の優越に関する規定について述べているのは、次のア～エのうちではどれか。

- ア 衆議院議員の被選挙権を有するのは、年齢満25歳以上の国民であり、参議院議員の被選挙権は年齢満30歳以上の国民に付与される。
- イ 衆議院で可決し、参議院でそれとは異なった議決をした法律案は、衆議院で出席議員の3分の2以上の多数で再び可決すれば法律となる。
- ウ 衆議院議員の任期は4年で、衆議院解散の場合には期間満了前に任期を終えるが、参議院議員の任期は6年で、3年ごとに議員の半数が改選される。
- エ 衆議院の解散期間中に開かれた参議院の緊急集会で採られた措置は、次の国会開会后10日以内に衆議院の同意がない場合にはその効力を失う。

〔問4〕 近年、我が国では社会保障関連の予算額が増加しており、<sup>(4)</sup> 予算案の審議等においても、社会保障制度のあり方についての議論が進められている。とあるが、次のIの文章は、我が国の社会保障制度のうち、国民年金の仕組みについてまとめたものである。IIのグラフは、1990年、2010年、2030年の我が国の年齢別人口構成の割合を示したものである。IとIIの資料を活用し、現行の仕組みを前提にした、国民年金の今後の課題について、被保険者の割合と受給者の割合の推移に着目して、簡単に述べよ。

- I
- 日本国内に居住する20歳から60歳までの男女が国民年金の被保険者となり、毎月保険料を納めることで、原則、65歳から年金を受け取ることができる。
  - 国民年金は、個人が納めた保険料を積み立てて老後に備えるのではなく、現在の現役世代の納める保険料によって現在の高齢者の年金給付を賄うという「世代と世代の支え合い」、すなわち世代間扶養の仕組みによって成り立っている。
  - 国民年金の財源は、被保険者の納める保険料を基本としているが、必要な費用の一部は税金によって賄われている。

(厚生労働省の資料などより作成)



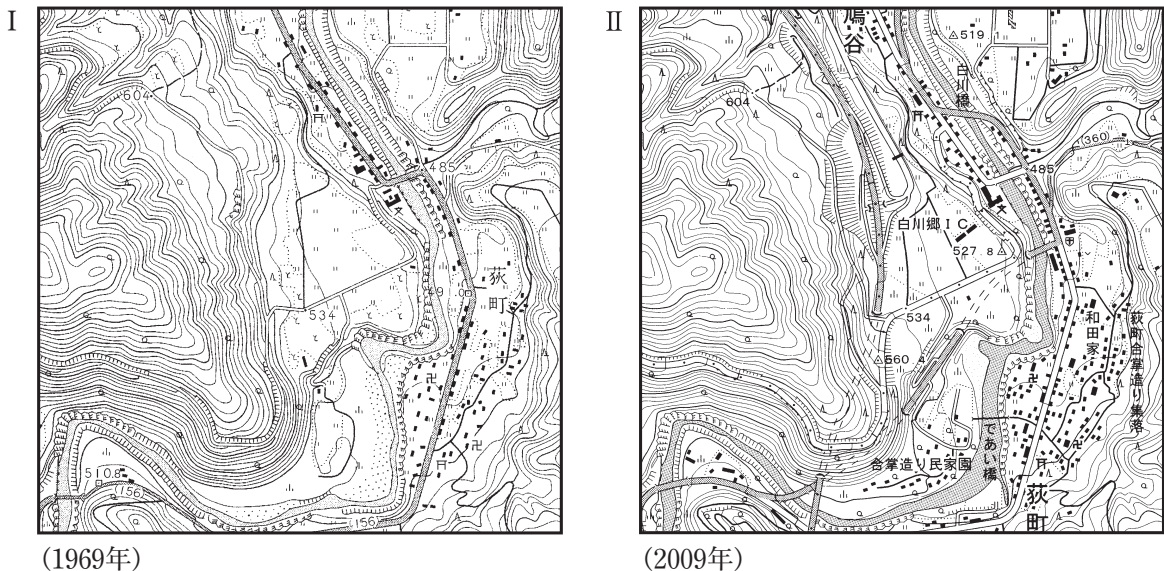
(注) 2030年の数値は推計値である。

(国立社会保障・人口問題研究所の資料などより作成)

6 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

中学生のAさんは、自由研究の題材に「世界遺産」を選び、具体的な事例として、1995年に世界遺産に登録された「白川郷」を取り上げ、白川村に関する地域調査を行うことにした。調査を進める中で、Aさんは、「持続可能な社会の形成」というテーマを設定して研究を深めるとともに、世界遺産の保護をはじめとする環境保全にかかわる世界の動きについても考察した。その結果、世界遺産登録に伴う「地域振興と環境保全の両立」をいかに進めていくかが大きな課題であることに気が付いた。さらに、Aさんは、地域社会に大きな影響を与える、世界遺産登録の現状について分析を行い、研究のまとめを行った。

〔問1〕 白川村に関する地域調査を行うことにした。とあるが、次のⅠとⅡは、1969年と2009年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図（鳩谷）」の一部である。ⅠとⅡの地形図を比較して読み取ることができる地域の変容について述べているのは、下のア～エのうちではどれか。



- ア 河川の西側に広がる傾斜地付近には、養蚕業が盛んな地域として桑畑が広く存在していたが、これらの桑畑の多くは果樹園になった。
- イ 河川沿いの平地では、山間部の盆地の特性を生かして稲作が行われていたが、高速道路の整備に伴い、水田地域に工場が建てられた。
- ウ 幹線道路の東側に位置する荻町には、集落を囲んで水田が広がっていたが、水田は縮小し、この集落の北西部には警察署が建設された。
- エ 河川と険しい尾根の間には荒れ地が広がっていたが、合掌造りの民家を移築した民家園がつくられ、その西側にはトンネルが建設された。

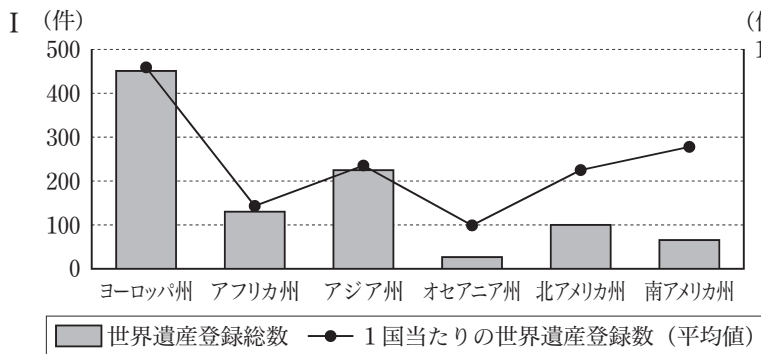
〔問2〕 世界遺産の保護をはじめとする環境保全にかかわる世界の動きについても考察した。とあるが、次のページの略年表は、1946年から2002年までの環境保全に関する世界の主な出来事についてまとめたものである。略年表中のAの時期における我が国の様子に当てはまるのは、次のページのア～エのうちではどれか。



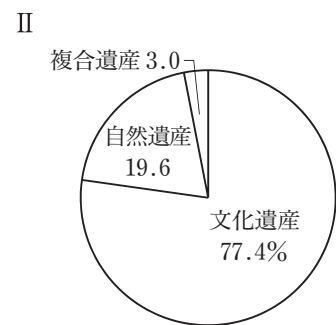
西暦	環境保全に関する世界の主な出来事
1946	●国際連合の専門機関として、国連教育科学文化機関（ユネスコ）が設立された。
1961	●世界野生生物基金（WWF）が設立された。……………
1972	●国連人間環境会議がスウェーデンで開催された。 ●ユネスコ総会で、世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）が成立した。
1978	●ガラパゴス諸島など12件の世界遺産登録が初めて行われた。……………
1992	●国連環境開発会議（地球サミット）がブラジルで開催された。 ●日本が世界遺産条約を批准した。
2002	●持続可能な開発に関する首脳会議（環境開発サミット）が南アフリカ共和国で開催された。

- ア 地球規模での環境問題の広がりを背景に、環境保全に関する施策を総合的に推進するため、国の環境政策の根幹を定める法令として、環境基本法が制定された。
- イ 地球温暖化防止に向けた国際的な対応策を協議するため、地球温暖化防止京都会議が開催され、先進国における温室効果ガスの削減目標を設定した京都議定書が採択された。
- ウ 四大公害に代表される公害問題の深刻化に対処するため、大気や水質等の環境基準を明確化し、公害に対する企業の責任などを明記した公害対策基本法が制定された。
- エ 大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から脱却し、環境への負荷が少ない社会を実現するため、国の総合的なリサイクル対策の枠組みを示した循環型社会形成推進基本法が制定された。

〔問3〕 地域社会に大きな影響を与える、世界遺産登録の現状について分析を行い、研究のまとめを行った。とあるが、Iのグラフは、2012年における世界各州の世界遺産登録総数と1国当たりの世界遺産登録数の平均値を示したものである。IIのグラフは、2012年における世界遺産の種別割合について示したものである。IIIの文章は、ユネスコ世界遺産委員会がこれまでに採択した指針等の内容をまとめたものである。I～IIIの資料から読み取れる、世界遺産登録における課題について、簡単に述べよ。



(日本ユネスコ協会の資料より作成)



(日本ユネスコ協会の資料より作成)

- III
- 世界遺産一覧表に見られる不均衡の是正を図る必要がある。
  - 世界遺産一覧表に登録された遺産は、都市関連の遺産、優れた建築関連の遺産、城塞など同種の遺産に偏っている。

(文化庁の資料より作成)